

令和7年度神奈川県立白山高等学校不祥事ゼロプログラム検証結果報告

1 実施責任者

不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭及び事務長がこれを補佐する。

2 取組課題・目標・実施結果

取組課題	目標	実施結果	達成状況
1 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	公務員、特に教職公務員としての信用失墜行為を未然に防止する。	(1) 事故防止会議を定期的で開催し、教育公務員としての自覚と倫理意識を持って行動するように、職員の意識の向上に努めた。 (2) 職員相互及び管理職とのコミュニケーションを大事にして、健康で明るく元気な風通しのよい職場づくりを推進した。 ※ 事故はゼロだった。	A
2 わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為について意識を高め、未然に防止する。	(1) 事故防止会議を定期的で開催し、わいせつ・セクハラ行為の防止を徹底した。 (2) 事故防止会議を定期的で開催し、携帯電話・スマートフォンや電子メール等の適切な使用を徹底した。 ※ 事故はゼロだった。	A
3 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	(1) 事故防止会議を定期的で開催し、体罰・不適切な指導の防止を徹底した。 (2) 生徒の人権を尊重した適切な指導が行えるように、教員間や部活動インストラクター等との連携と情報交換を密に実施した。 ※ 事故はゼロだった。	A
4 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験、成績処理、調査書等の文書作成での事故を未然に防止する。	(1) 事故防止会議を定期的で開催し、成績処理及び進路関係書類の適切な作成及び取扱いを徹底した。 (2) 成績処理業務、試験問題作成、調査書及び各種証明書発行手続き等に関するマニュアルを整備し、マニュアルに基づく業務の遂行を徹底した。また、点検については、複数の担当により慎重かつ正確な点検を実施した。 ※ 事故はゼロだった。	A

取組課題	目標	実施結果	達成状況
5 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の流失や誤廃棄を未然に防止する。	(1) 事故防止会議を定期的開催し、個人情報の管理、情報セキュリティ対策に関する適切な作成及び取り扱いを徹底した。 (2) 教職員の個人情報登録状況の確認を行うとともに、個人情報の持ち出し・返却や廃棄の際の手続きを徹底した。 ※ 事故はゼロだった	A
6 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故や酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止する。	(1) 事故防止会議を定期的開催し、交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守を徹底する。 (2) 交通法規の遵守と交通事故防止について、各種会議や打合せ等の機会を活用して、啓発資料を配付するなど、意識啓発に努めた。 ※ 事故はゼロだった。	A
7 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	不適切な業務執行を未然に防止する。	(1) 事故防止会議を定期的開催し、業務執行体制の確保等を徹底した。 (2) 業務遂行にあたっては、グループや年次内で情報の共有を図り、構成メンバーが相互に点検・確認をするなど、業務が一人に偏ることのないように協力体制をとりながら業務を遂行した。 ※ 事故はゼロだった。	A
8 会計事務等の適正執行	適正な私費徴収・執行を行う。	(1) 事故防止会議を定期的開催し、私費会計に関する適正な処理を徹底した。 (2) 私費会計担当者は、私費会計基準に基づき、会計業務を行うとともに、グループや年次内の構成メンバーにより複数の目で点検・確認を実施し、事故を防止した。 ※ 事故はゼロだった。	A
9 入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務に係る事故不祥事の発生を未然に防止する。	(1) 入学者選抜に係る事故防止会議を開催し、職員の事故・不祥事防止意識を向上させた。 (2) 県教育委員会の指示を仰ぎながら、入学者選抜に係るマニュアル及び点検体制を整備するとともに、職員対象の研修会	A

取組課題	目標	実施結果	達成状況
		を実施し、職員全体の共通理解のもとに 入学者選抜に臨んだ。 ※ 事故はゼロだった。	

※ 達成状況の評価区分

- A…行動計画に対して、ほぼ達成またはそれを超える状況になった。または、数値目標の80%以上だった。
- B…行動計画に対して、計画通りの状況ではないが、一定の成果が上がっている。または、数値目標の50%以上80%未満だった。
- C…行動計画に対して、計画通りの状況にはならなかった。または、数値目標の50%未満だった。

3 学校長の意見

令和7年度白山高等学校不祥事ゼロプログラムの行動計画に基づいて、不祥事防止会議を位置付け、不祥事防止研修会等を効果的に実施するとともに、朝の打合せ等において、新聞報道等の事例を紹介したり、教育長通知や関係資料を周知したりするなど、職員への注意喚起を行い、事故・不祥事の未然防止に取り組んできた。

結果は、9項目の取組課題全て評価Aとなり、事故・不祥事防止について一定の成果をあげることができたといえる。

次年度も、不祥事ゼロプログラムの行動計画に即して、不祥事防止会議や各種研修会を実施するとともに、職員全体のコミュニケーションを密に図り、風通しのよい職場環境を構築し、事故・不祥事を出さない職場づくりに学校全体で取り組む所存である。

4 令和8年度に取り組むべき課題

次の5項目を重点課題として取り組む。

- (1) 法令遵守意識の向上
- (2) 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止
- (3) 児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止
- (4) 体罰、不適切な指導の防止
- (5) 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止
- (6) 財務事務等の適正執行

※ 8年度教育委員会不祥事防止ゼロプログラム作成方針（令和8年4月発出予定）に準じて変更する場合あり。